

2017年

## 1. 論文

- ・宗像恒次：「情緒安定化療法としてのSAT療法-レジリエンスを高めて情緒安定を促す技法」、特別寄稿総説、Journal of Health Counseling 2017 Vol.23
- ・Yuko Kobayashi, Tsunetsugu Munakata：「Effects of the Metropolitan Civil Resilience Program: Comparison of the SAT Resilience Program and an Exercise Program」、Advances in Science, Technology and Engineering Systems Journal Vol. 2, No. 2, 1-6 (2017)

## 2. 著書

- ・宗像恒次：「感情を変える技術—SAT レジリエンス法」筑波大学発ベンチャー株式会社 SDS 出版：2017. 9. 1

## 3. 口頭・学会発表

- ・宗像恒次：「身体違和感の世代間連鎖からの再出発—SAT療法で本当の家族の姿と巡り合う」、第24回ヘルスカウンセリング学会学術大会：筑波大学筑波キャンパス：2017. 9. 23
- ・松本敦子、紙田剛、橋本佐由理、宗像恒次：「VR（バーチャルリアリティ）を用いたSATセルフメンタルケアシステムの開発」、第24回ヘルスカウンセリング学会学術大会・ポスター発表：筑波大学筑波キャンパス：2017. 9. 23
- ・宗像恒次：「市民のレジリエンスを高める社会—一体の芯があたたまると関係が築く」、第23回日本精神保健社会学会総会・大会：筑波大学 東京キャンパス：2017. 11. 23

## 4. 講演

- ・宗像恒次：「不登校児に学校に行く楽しさを取り戻そう」第2回セラピスト研修会、筑波大学発ベンチャー株式会社 SDS：市川市：2017. 2. 5
- ・宗像恒次：「心の病が、心で治す」第3回セラピスト研修会、筑波大学発ベンチャー株式会社 SDS：筑波大学東京キャンパス：2017. 5. 14
- ・宗像恒次：「個性としての発達しょうがいを活かす脳科学」NPO 法人生涯発達研究所発足三周年記念講演会：壬生町城址公園中ホール：2017. 6. 13
- ・宗像恒次：「健康寿命-自分の個性を活かす生き方と運命愛」第10回日本在宅薬学学術大会：パシフィコ横浜会議センター：2017. 7. 30
- ・宗像恒次：「個性としての発達しょうがいを活かす脳科学」NPO 法人生涯発達研究所発足三周年記念講演会：壬生町城址公園中ホール：2017. 6. 13
- ・宗像恒次：「ストレスからしなやかに復元する力」-レジリエンス、株式会社エイブル総決起大会記念講演：いわきワシントンホテル：2017. 8. 26
- ・宗像恒次：「教師や生徒のストレスマネジメント法」、千葉県子どもと親のサポートセンター：県立幕張総合高等学校：2017. 9. 1
- ・宗像恒次：「個性としての発達しょうがいを活かす-脳科学からみた個性」、千葉県立千葉高校：千葉県立千葉高校講堂：2017. 10. 26
- ・宗像恒次：「家族で「不登校」「発達しょうがい」問題を解決して愉しく暮らそう!」、ヘルスカウンセリング北海道ネットワーク：北海道立道民活動センターかでの2・7：2017. 10. 29
- ・宗像恒次：ホリスティックケアとしてのSAT療法—「身体違和感」を解消し、心身の苦痛軽減—第21回日本統合医療学会・日本ホリスティック医学協会合同大会：東京有明医療大学：2017. 11. 25